

令和6年度第1回戸田市総合教育会議次第

日 時:令和6年9月19日(木)

午後1時30分～3時00分

場 所:戸田市役所4階 公室

1 開 会

2 議 題

(1) 戸田市教育の対外的PRについて

(少子化対策、子育て世帯の定着にも資する発信について)

(2) 健全な教育環境確保のための住宅開発抑制について

(3) ラーケーションについて

(4) その他

3 閉 会

議題 1 「戸田市教育の対外的PRについて」

令和6年度第1回総合教育会議

2024年9月19日（木）

市長公室

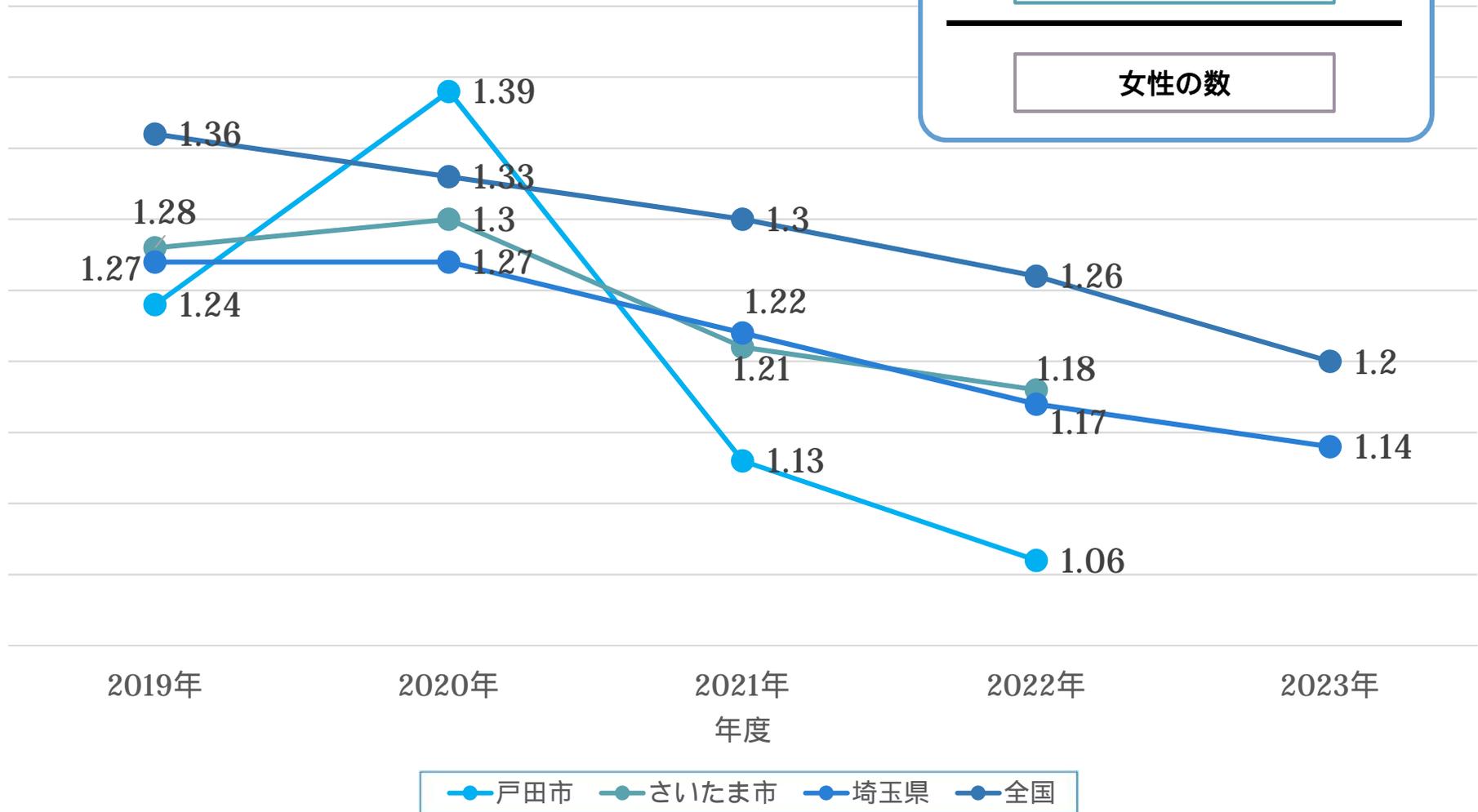


直近5年間の合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率の計算

生まれた子どもの数

女性の数



直近2年間（R4.4.1～R6.5.1）の転入・転出状況

全体	0-18	19-29	30-39	40-59	60-	計
転入	1,482	7,254	3,504	2,022	1,005	15,267
転出	1,893	5,978	3,716	2,537	1,125	15,249

直近2年間で、
18人の転入超過

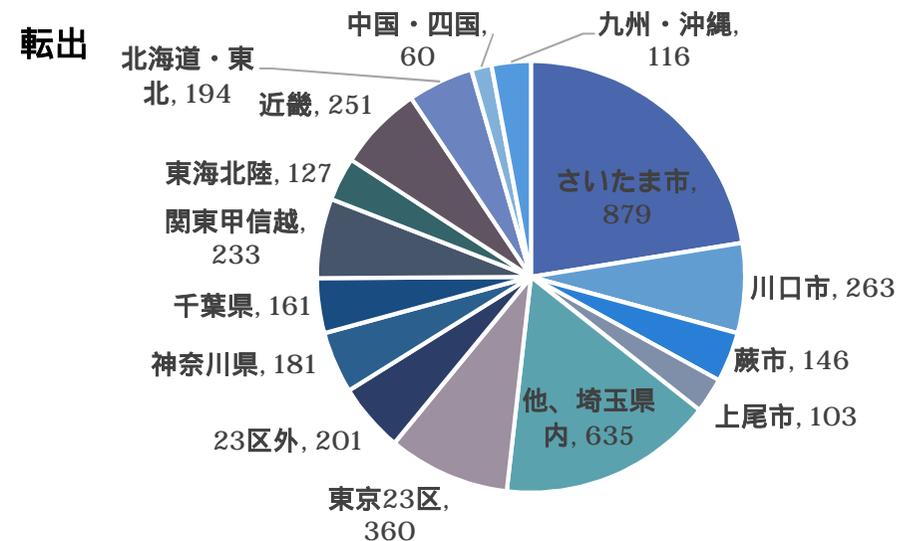
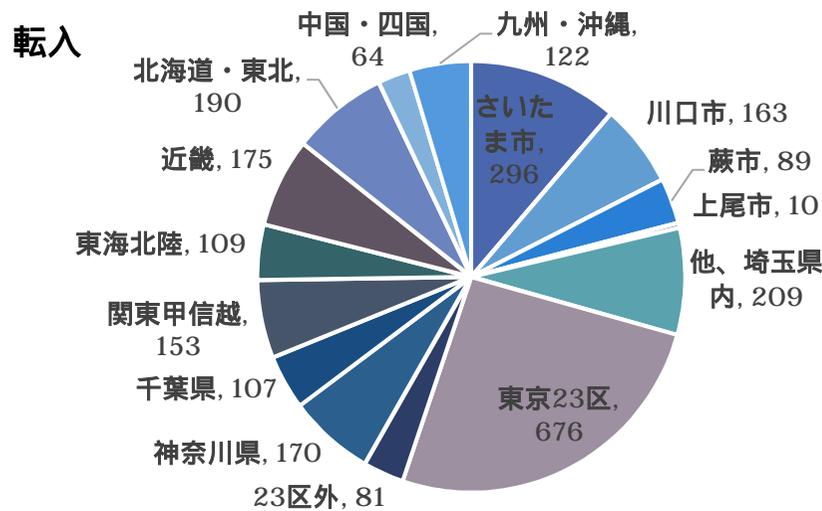
外国人除く

子育て世帯	0-18	19-29	30-39	40-59	60-	計
転入	1,482	279	827	322	14	2,924
転出	1,893	428	1,148	570	16	4,055

直近2年間で、
1,131人の転出超過

外国人除く 子育て世帯の集計は、18歳未満の者を含む世帯を子育て世帯とみなし、その世帯に属する者の人数を集計しています。

転入転出先別の子育て世帯の人数





現状

子育て世帯の移動の状況

- ・ 転出転入の割合では、
転出が58% 転入が42%で**転出超過**となっている。
- ・ 市内の子育て世帯の引越し状況としては、
市外転出が56% 市内転居が44%
転出先としては、さいたま市、上尾市などに**戸建て住宅**を求めて異動

20代の子どもがいない**単身世帯**又は**夫婦世帯**の転入が多い。

婚姻数や出生数は増加していないため、**出生率が低下**。

課題

子育て世帯の転出

出生率の低下

課題解決の方向性

子育て世帯が**安心して長く**
住み続けることができるまち

若者の**結婚・出産の**
希望を実現できるまち

子育て支援策 4本の柱

情報発信
イメージ戦略

子育て支援

住環境向上

若者支援

議題3 「ラーケーションについて」

令和6年度第1回総合教育会議

2024年9月19日（木）

市長公室

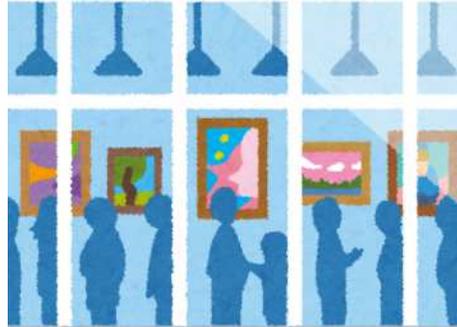


ラーケーションについて

ラーケーションとは・・・

- 「ラーニング」(learning 学習)と「バケーション」(vacation 休暇)を組み合わせた造語
- 愛知県で初めて導入。「ラーケーションの日」として、子どもに学びを目的とした休暇の取得を認める制度を設けた。
- 事前に学ぶ日程・場所・内容などの届出をすれば平日に学校を休める制度
- 「休み方改革」の実現

☞ 導入のメリット・デメリット



《メリット》

- ・ 休み方改革の推進
- ・ 新たな学びの体験
- ・ 家族の時間増

《デメリット》

- ・ 家庭間での不平等
- ・ 学習の遅れリスク
- ・ 教員の負担増

実現するためには・・・

新しい「休み方改革」や「学び方改革」につながるよう双方を注視することが不可欠である。

全国のラーケーション取組状況

- 愛知県：ラーケーションの日
- 茨城県：ラーケーション制度
- 山口県：家族でやま学の日
- 熊本県：くまなびの日
- 大分県別府市：たびスタ休暇
- 栃木県日光市：ちょこっとスタバケ日光
- 沖縄県座間味村：ざまやすみ

<<参考>> Q & A 「愛知発の新しい学び方「ラーケーションの日」ポータルサイト」から抜粋

Q1 愛知県は、どうして「ラーケーションの日」を作ったのですか。

A1 愛知県「休み方改革」プロジェクトでは、県全体のワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による地域の活性化を目指しており、その一環として「ラーケーションの日」が生まれました。総務省の調べでは、土曜日に働いている方が約45%、日曜日に働いている方が約30%おられ、休みの日に子供と一緒に過ごすことが難しい家庭が少なくありません。そうした家庭でも、平日の保護者が休みの日に、子供と一緒に学び、活動することができる日として、「ラーケーションの日」を作りました。

Q2 「ラーケーションの日」の計画は、どのように立てればよいですか。

A2 ラーケーションの計画を立てるときは、子供が学校で今勉強していることなども聞きながら、子供が「もっと知りたいと思っていること」「体験してみたいこと」などについて話し合ってみてください。その中で「学ぶ場所」や「学ぶこと」を決めていってははどうでしょうか。なお、遠くへ行かなくても、身近な場所にも「学びの種」はあふれています。

<<参考>> Q&A 「愛知発の新しい学び方「ラーケーションの日」ポータルサイト」から抜粋

Q3 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますか。また、残った日数は、次の年に繰り越すことはできますか。

A3 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますが、残った日数を次年度に繰り越すことはできません。

Q4 急きょ休みが取れることになった場合、前日に「ラーケーションの日」を届け出ることはできますか。

A4 前日でも、「ラーケーションの日」を届け出ることは可能ですが、しっかりとした計画を立てて学習活動を行っていただきたいので、早めの届け出をお願いします。

Q5 「ラーケーションの日」に、どこかへ旅行に出かけてもよいのですか。

A5 ラーケーションは、ラーニング（学び）＋バケーション（休暇）ですので、「学び」の要素が必要です。学びの要素があれば、旅行に出かけることもできますが、大切な授業の代わりとなる活動ですので、家庭でよく話し合っけて計画を立ててください。なお、どこかへ出かけなくても、ラーケーションは可能です。

<<参考>> Q&A 「愛知発の新しい学び方「ラーケーションの日」ポータルサイト」から抜粋

Q6 どのような活動であればラーケーションになるのですか。

A6 ラーケーションは、(1)保護者と一緒に行く、(2)体験や探究の学び・活動です。そのため、(1)(2)を満たす活動がラーケーションということになります。学校から配付されたリーフレットに載っている「学びのキーワード」や活動例、また、次に掲載した「ラーケーションおすすめサイト」などを参考にして、子供と話し合い、「何を学ぶか」をはっきりさせる必要があります。身近な場所にも、学びの種はたくさんあるはずです。

Q7 「ラーケーションの日」を取ったことで、学習が遅れてしまうのが心配です。どうすればよいでしょうか。

A7 学校では、「ラーケーションの日」を取得した子供には、病気等による欠席と同様の対応をします。授業で使用したプリントなどがある場合には、学校から後日お渡しすることができますので、家庭で自習により補っていただくようお願いいたします。

<<参考>> Q&A 「愛知発の新しい学び方「ラーケーションの日」ポータルサイト」から抜粋

Q8 「ラーケーションの日」が導入されることで、学校行事等に子供がそろわなかったり、先生の仕事が増えたりすることになりませんか。

A8 学校が「全員に出席してほしい」と考える場合には、「ラーケーションを取ることができない日」を設けることがありますので、その日には、「ラーケーションの日」を取らないようお願いします。

また、県教育委員会では、「ラーケーションの日」の導入に伴い増加する業務を軽減するため、教職員の事務作業の補助等を行う校務支援員の配置を進めています。